

併催

- 関東ICT推進NPO連絡協議会神奈川セミナー
- 市民メディア全国交流協議会設立総会
- 市民メディア映像祭
- 横浜デジタルアーカイブプロジェクト



YOKOHAMA 2006

Japan Alternative Media Gathering

市民メディアサミット06

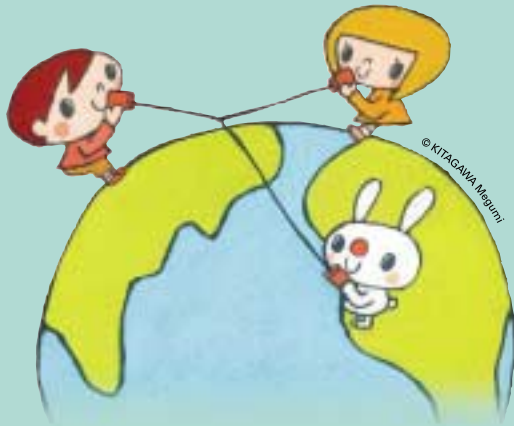
第4回 市民メディア全国交流集会@よこはま06

9/8(金) 9(土) 10(日)

9:00~22:00

会場:横浜市開港記念会館・ZAIM

横浜市開港記念会館(国の重要文化財。97年前に開港50周年を記念して市民の寄付によって建設された公会堂)
ZAIM(1928年に建てられ関東財務局としても使われていた歴史的建造物。現在は市民のためのアート創造拠点)



テーマ:市民メディアは社会をつなぐ

「市民メディア全国交流集会@よこはま06(通称:市民メディアサミット)」を横浜で開催します。第4回目となる今回の開催テーマは「市民メディアは社会をつなぐ」。「つなぐ」ということばは英語の「リンク」に相当します。私たちはそこに、さまざまな意見の持ち主が全国から集まり、交流することによって、新しい知見を持ち帰っていただくという気持ちを込めました。ここ数年で市民メディアとして定着した感のあるブログや、昨年から急速にブレイクしているポッドキャストは、市民に解き放たれたメディアであると考え、その課題、役割、可能性について意見交換をいたします。また、同様にCATV、コミュニティFMIについても市民参加の可能性について議論いたします。「つなぐ」をキーワードに、これからの「市民メディア」がとるべき方向性をみなさんとともに探りたいと思います。

参加料:

- 講演、分科会、講座参加料=1日2,000円
- 8日交流バーベキュー参加料=2,000円
- 9日交流会参加料=5,000円
- 事前登録料=10,000円(学生5,000円)

展示会(3日間)および、
公開セミナー(9日13:00~)は参加無料です

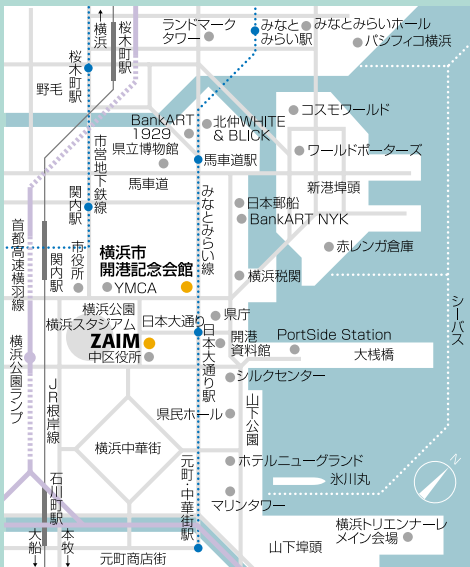
(交流会・交流バーベキューを含む3日間全てのプログラムに参加できます。)

主催:市民メディア全国交流集会@よこはま06実行委員会

共催:総務省関東総合通信局、関東ICT推進NPO連絡協議会、
市民メディア全国交流協議会(準備会)

後援:神奈川県、横浜市

協賛:日本インターネット新聞社、オーマイニュース・インターナショナル、クアルコム ジャパン株式会社、
ポートサイドステーション、富士ソフト株式会社、エコアクションニュース社、株式会社アイシス



● 交通案内

横浜市開港記念会館=みなとみらい線「日本大通り駅」徒歩1分、

JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩7分

ZAIM=みなとみらい線「日本大通り駅」徒歩2分、

JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩5分

連絡先:横浜市中区海岸通1-1 えきささい会横浜大棧橋診療所ビル401

tel.045-661-8211 fax.045-520-2855

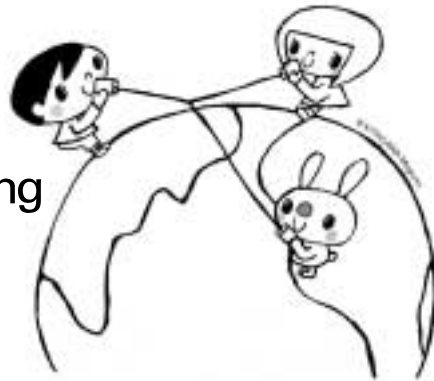
最新の情報は市民メディアサミット公式サイトをご覧ください。

<http://alternative-media.jp/>

YOKOHAMA

2006 Japan Alternative Media Gathering

市民メディアサミット06



9/8(金)

第4回 市民メディア全国交流集会@よこはま06

※セッションのタイトル、時間、出演者などが変更になる場合があります。

B 13:00-16:00

■講演
『ぐるなび「No.1サイト」への道』
『貢献する気持ち』

「情報伝達メディアの創出」をライフワークとするぐるなび創業者が、No.1グルメ情報サイト「ぐるなび」の開設から現在、そして今後を語る。また、人間の本能と提唱する「貢献心」をボランティアやNPO、企業の社会貢献にどう生かすかを考える。

・講演
滝 久雄(ぐるなび会長)

9/9(土)

A 9:00-12:00

■シンポジウム
パブリックアクセスの制度化を展望

公共放送NHKの再編、サイバーメディアと放送メディアの融合/再編、地域振興とメディア活用などをめぐって、市民・住民・NPOのメディア参画は次第に緊迫し現実的なものになるとうしている。日本で近い将来にめざすべきパブリックアクセスの制度や要件はどのようなものだろうか。現実的な提言と討論で展望する。

・コーディネーター
津田正夫(市民とメディア研究会、あくせす/立命館大学)
・パネリスト
高橋孝之(サテライトコミュニケーションズネットワーク代表取締役)
堀部政男(中央大学法学部、NHK経営委員)
梓澤和幸(弁護士)
松澤一砂(関東ICT推進NPO連絡協議会事務局)

■ランチョンミーティング 12:00~
携帯電話を使った
新しい地域放送システム
提供:クアルコム ジャパン株式会社
※お弁当無償配布

9/10(日)

A 9:00-12:00

■住民ディレクターが語る
自己表現するテレビの使い方

住民ディレクターとは、プリズムの岸本晃が考案した、「番組制作を通じて企画力を高め、自分自身の生き方や地域、社会のあり方を考える」活動です。熊本、山江村、富山、山口、東京(杉並)と各地に広がった住民ディレクターたちが集まって、わいわい、がやがや、「自己表現するテレビの使い方」を語ります。

■特別セッション
市民メディア映像祭表彰式
横浜デジタルアーカイブプロジェクト

■シンポジウム
市民メディアと著作権

著作物に對価を払うことは当然なことだが、その前に、創作物が自分のいやだと思ふことに使われることを拒否する権利があることを忘れてはならない。それを確認した上で、現在の動向を探る。

・司会
宮武久佳(共同通信社 メディア局編集部担当部長)
・パネリスト
穴澤健明(株式会社ディアルエムソリューションズ 代表取締役)
飯田尚一(電通 メディア・コンテンツ統括局ビジネス開発部長)
菅原瑞夫(JASRAC常任理事) 予定

■セッション
大学における市民メディアの取組

B 13:00-16:00

■無料公開セミナー
(関東ICT推進NPO連絡協議会・神奈川セミナー)
13:00~

1) 市民リポーターの人間取材術
市民自ら情報を世界に向けて発信できる時代が来ました。やがてそれらは共鳴しあつて沸き立つお湯のように沸騰し、社会をよりダイナミックに変革するきっかけとなるでしょう。今回は、市民メディアづくりの基本となる人間取材術や情報整理術を実例を交えてお話しします。情報発信する際の参考としてください。

・講演
山根一真(ノンフィクション作家)

14:30~
2) いま始まった日本での試み
~オーマイニュースは成功するか?

「オーマイニュース」は、果たして日本で成功するのか?東京に常駐して準備にあたるオ・ヨンホ代表が「市民記者制度」の普遍的な力と韓国での成功、そして日本でのチャレンジについて率直に語り、議論する。

・講演
呉 連鎬(オ・ヨンホ) (オーマイニュース代表)

B 13:00-16:00

■市民記者セッション
市民記者・リポーターへの期待

市民記者の記事をベースにする「インターネット新聞」が日本にも根づいてきました。市民メディアには欠かせない市民記者・リポーターの活躍への期待を語っていただきます。

・パネリスト
竹内 謙(日本インターネット新聞社 代表取締役)ほか

■特別セッション
地方政治と市民メディア

C 16:00-19:00

■コンベンション
市民メディア全国交流協議会設立総会

■パネルディスカッション
市民メディアにおける携帯電話の可能性

ワンセグを皮切りに、携帯電話による放送という新しい分野が台頭しつつあります。地域防災/安全情報を始めとした地域情報サービスとの関わりを中心に、携帯電話の地域メディア、市民メディアとしての可能性を探ります。

・パネリスト
山田 純(クアルコム ジャパン株式会社社長)
他、携帯通信関係者出席予定

C 16:00-19:00

■セッション
市民メディアは社会をつなぐ?

TBSテレビ『みのもんたのサタデーずぼっ』や『筑紫哲也NEWS23』等にも出演の「市民メディアアドバイザー」下村健一さんが、市民メディアの実践者達に興味津々で突っ込みます。

・コーディネーター
下村健一(市民メディアアドバイザー)
・パネリスト
神田敏晶(ピデオジャーナリスト「Web2.0」著者)
中村珠美(大牟田市「三池~終わらない炭鉱の物語」企画担当)
日比野純一(FMわいわい 代表)
中山雅夫(世田谷テレビ 代表)
小池由美(横浜市民メディア連絡会運営委員)

■ほんねトーク
マスメディアvs市民メディア

既存メディアは機能不全に陥っている!—「オルタナティブ」を掲げて、市民のブログ、市民放送局などの台頭が目覚ましい。同時に、マスメディア内部に再生への模索も。双方の「現場」から相克・協働・連帯の現状と可能性を問う。

美浦克教(共同通信社会部デスク) <交渉中>
白石 草(アワプラネットTV共同代表) <交渉中>
・座長 丸山重威(関東学院大教授)

C 16:00-19:00

■交流カフェ
メディアによる市民活動の
交流の場づくりを考える

・ナビゲーター
福井文雄(京都三条ラジオカフェ代表)

■全体まとめ
全セッションハイライト・全体まとめ

D 19:00-22:00

■交流会
交流バーベキュー

学生のための宿泊施設「三ツ沢公園青少年野外活動センター」で開催。

市民メディア全国交流集会@よこはま06では、40以上の講演、ワークショップ、セミナーが開催されます。その内のいくつかを紹介いたします。その他のセッションや詳しい内容、スケジュールは公式ウェブで確認してください。
<http://alternative-media.jp/>

D 19:00-22:00

■交流会
市民メディア交流会

会場:ZAIM

その他のセッション紹介
(一部を紹介し、日時、内容等詳細は決まり次第サイトで紹介します)

- 災害と市民メディア
- あなたも市民放送局で発信できる~ストリーミングやポットキャストのノウハウ(技術編)
- 新しいネット・ツールの市民メディアにおける活用「NOTA」
- 市町村合併を伝えたコミュニティFM
- 学生発・ネットで地域をどうする
- 市民活動情報としての地域デジタルアーカイブ
- 市民メディアとアート
- 人のネットワークを作る「ネットデイ」
- 地域の企業と、商店会、市民、学校が連携する市民発の地域情報
- パブリックジャーナリズムの展開-市民レポート新聞
- 市民メディア・センターとしての公共図書館・市民活動支援センターの可能性
- 地域SNSは地域の活性化に役立つのか?
- 高校でメディアリテラシーをどう教えるか
- Web時代のペーパーメディアの可能性
- スローライフ、地産地消と市民メディア …ほか

展示コーナー(無料)

展示コーナーでは、3日間、各地の市民メディアの作品上映や新しいツールの紹介・展示などが多数ご覧いただけます。

最新の情報は市民メディアサミット公式サイトをご覧ください。

<http://alternative-media.jp/>